

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名：「オナホですよ？」

テーマ：「オナホなのに、使ってもらえない美少女」

キャラクター

55

ストーリー

30

テーマ(設定)

50

文章力

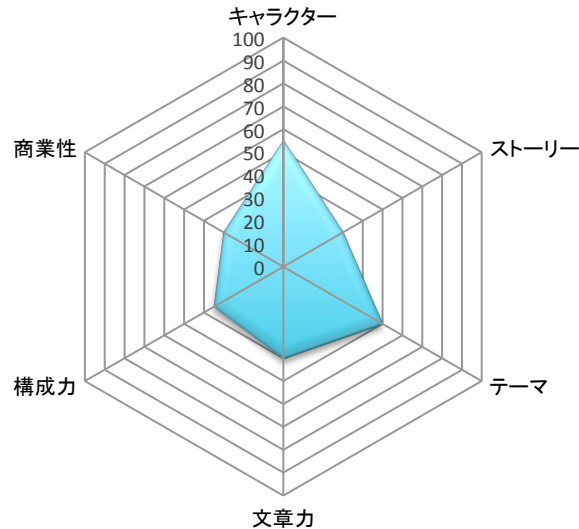
40

構成力

35

商業性

30



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・オナホというワードを出した以上、徹底的に練られたギャグストーリーを描くことが望ましい。恐らくプロットなしの状態書き始めた(?)のか、前半はキャラクターの強烈さでなんとか学校までは笑いをとりながら話をもっていたものの、後半からはエンジンがなくなりしかもストーリーがないのでとりあえず何となくシリアス展開をもっていった無難にすませたという印象。端的に言ってしまうと、食材は絶対に美味しいと分かっている高級品ながら、料理を無計画に急ぎ過ぎたせいで美味さが減っている状態なので、食べる側には恐らく怒る人もいるはず。

・話のオチは告白というテーマを軸に成り立っているが、どうしても告白をオチにもってきかかったのであればいっそオナホというワードそのものを排除し(告白という下ネタとは対局的なイベントを通ずるとオナホや精液といった単純な下ネタがひどく冷めて見えてしまう)、かつ序盤から告白というワードを出しておき、普通にラブコメでいく。もしオナホを出してそれなりのオチをつけるのであれば、告白など上等なピュア要素は一切ださず、それこそ自慰行為などオナホと関連性のある汚いテーマでオチを組むべき。ギャグかシリアスかのどちらかに作風は傾ける。

合計加点ポイント 0

総得点: 240 / 600

B方式総合得点: 9600 点